



本のひろば

秋の読書の取組として10月26日(木)から始まっているチャレンジカード(1~3年生)ビンゴチャレンジカード(4~6年生)は、11月17日(金)で終わります。図書の授業時間や休み時間を利用し、たくさんの方がチャレンジしています。多い人は、すでに10枚以上ラッキーカードを手にはしています。もらったラッキーカードは、2学期中しか使うことができません。頑張ってもらったラッキーカードの使い忘れがないように気を付けてください。そして、まだラッキーカードをもらっていない人は、金曜日までチャンスがあるので頑張ってください。



3年生の読書チャレンジについて！！

今年、3年生は読書チャレンジ期間の前半は独自のチャレンジを行っていました。例年、3年生は4月の図書の授業の中でポプラディア(総合百科事典)の使い方を勉強していましたが、今年は秋の読書チャレンジの時にポプラディアを使って言葉を調べ、それをカードに書き語彙を増やすことにチャレンジしました。調べる方法や調べる言葉は自由にしました。すると、「あ」のページにのっている言葉を順に読んでまとめてカードに書いた人、自分の好きな分野について調べる人、さらには適当に開いたページから自分の気になる言葉を選んでまとめる人と様々した。なんと！！2週間で72枚もカードを書き上げた人がいました。3年生にとって新しいチャレンジとなりましたが、みんな隙間の時間や休み時間を使って本当によく頑張りました。



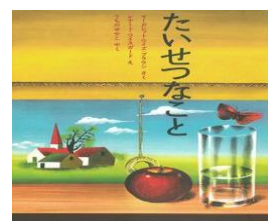
今年もいただきました

今年も『福祉協議会 赤い羽根共同募金』で集まったお金の一部を頂きました。今年は「自分を、人を、ものを大切に」をテーマに本を選びました。その中から2冊を紹介します。他にも、図書室のピンクの棚のところに紹介しているので読んでみてください。

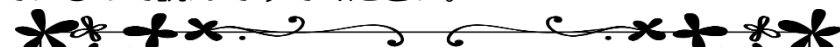


『あなたの声がききたい
聴覚障害の両親に育てられて』

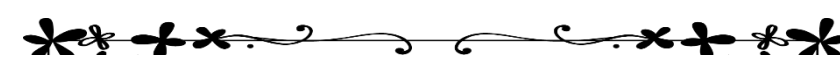
成成出版社 作/岸川 悦子



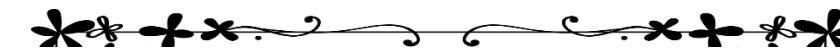
『たいせつなこと』フレーベル館
作/マーガレット・ワイズ・ブラウン



耳の聞こえない両親をもつかなこさんは、心ない差別に傷つき両親と言葉で会話できないもどかしさを感じながら大きくなりました。それでも両親から愛情を一杯に受けたかなこさんは、今では自分が様々な人に助けてもらったように、人を助ける仕事にしたいと思い看護師として働いています。本当にあったお話です。



毎年、6年生の卒業前の最後の図書の授業で読み聞かせをしていた本です。ついに、三小の図書室に入りました。『たいせつなこと』が何かをやさしく伝えてくれています。悩んだり、迷ったりした時に手に取ってゆっくり読んで欲しいおすすめの一冊。



他にも絵本や読み物がたくさん入りました。

色	本の題名	おすすめしたい人
黄色	マンガでよくわかる少年野球入門【攻撃編】他2冊	スポーツ好きにおすすめ
赤	ねこのすし屋さん	動物、食べ物好きな人
ピンク	図書室の怪談 全5巻	怖い話が好きな人
オレンジ	時間をやくパン屋さん	ワクワクしたい人
水色	コミック版伝記「シートン」「レントゲン」	感動したい人

